

日本発ドイツ便り : Ammersee

Andechs 修道院からの帰り道。バスの窓から突然大きな湖が見えました。
2時間に1本、ということも忘れて、次の停留所で、ついバスを降りてしまいました。(終点のS-Bahnの駅まであと一駅のところだったので、まあなんとかなるだろう。と。)



Ammersee (アマーゼー : アマー湖) です。面積は 47km² で、ドイツで 5 番目に広い湖です。(ちなみにドイツ最大の Bodensee¹が 536 km²で琵琶湖は 670 km²) ミュンヘンの近郊の Fünfseealand (フュンフ・ゼーランド : 5つの湖のある場所という意味) と呼ばれる地域です。遊覧船に乗るのも良いなあ、と思いましたが、後の予定があるので、断念。でも、せっかくなので、湖の周りを散歩してみました。



München あたりの人達のお手軽なリゾート地、ということでもっと夏になれば、ヨットや船、泳ぐ人や日光浴の人で賑わいそうです。

きれいな景色と木陰があれば、もちろん湖畔には...?

¹ Bodensee; ボーデン湖はドイツ、オーストリア、スイスの国境に位置する湖です。



もちろん Biergarten (ビアガルテン)。わかりやすいですね。☺ ところで Biergarten (日本ではビア・ガーデンですが) 19 世紀の München で生まれた、って知っていましたか? Bayern 州には Biergartenverordnung という「Biergarten 条例」なるものが 1999 年に制定されています、それによると、営業時間は 07 : 00 ~ 23 : 00、音楽の演奏は 22 : 00 までなどなど色々決まりがあるようです。Biergarten についてはまたの機会に。



綺麗に手入れされた花壇の横には小さなお城がありました。鶯がからまっていて、なんだか童話に出てきそうな感じのお城でした。今ではギャラリーになっているようです。





湖畔の公園を散歩。木陰と湖からの風が心地よいです。丁度この公園全体が美術館みたいなことになっていて、いろんな場所で、オブジェを設置とか制作している人がいました。



これも何やらアートのようにです。私にはイマイチ良くわからなかったけど…。



二股になった（珍しい？）大きな木の間から。湖畔にはベンチがたくさんありますよ。ベンチには日光浴の人がちらほら。お弁当持参で来ている人・読書している人と、それぞれの方法で楽しんでいます。



広くて青い空と水の色。木陰にそよ風。とても気持ちの良い散歩道でした。砂浜ではないですが、この湖畔も夏には水着の人でいっぱいでしょうね。



Die kleine Seejungfrau (ディ・クライネ・ゼーユングフラウ:「人魚」)の像を発見。この湖にもそんな伝説があるのでしょうか?Waller (オオナマズ)に乗って登場??コペンハーゲンの有名な人魚像もそうですが、足はヒレではなくて、ちゃんと2本あります。



暗くなってきたら、この景色全部がブルーに見えるかも。幻想的でしょうね～。この後、駅にたどり着けるか心配しましたが、結構近かったです。Münchenから電車で1時間のリゾート地 Ammersee でした。